

長崎（肥前の国など）の歴史年表

西暦	和暦	事 件
713	和銅6	日本最古の銀錢（和同開珎）ができたころ、日本最古の歴史書＝古事記が書かれたこの年、また日本最古の風土記が全国に4誌が書かれる。そのうちの一つに肥前風土記（当時の肥前の国）＝長崎、佐賀県あたりの郡・郷・里などの歴史や詳細が書かれている。当時の長崎県は壱岐、対馬を除けば、松浦郡（五島、佐世保市、北松浦郡）と、彼杵郡（佐世保、東・西彼杵郡、大村市、佐世保市、長崎市）と高木郡（諫早、南・北高木郡、島原市）の3つに分けられていた。
994	天曆5	大村真澄（大村氏の祖・初代領主）彼杵郡の大村に始まる。長崎の中心。
1069	延久1	松浦党の始祖・源久が松浦郡の今福に土着。
1192	建久2	松浦氏が松浦地方の地頭となる。
1222	貞応元	承久の乱の直後、室町幕府の再配置の命を受けて、長崎小太郎、長崎に来て桜馬場に居を構える。のちにその後ろの山の上（城の古址）に鶴の城を作る。13代、400年間続く。
1255	建長7	深堀氏もこの時期、千葉県から任地がえて深堀、戸町、長崎半島一帯を与えられ地頭になる。
1470	文明2	西郷氏が諫早一帯を支配
1496	明応5	島原一帯を支配していた領主・有馬貴純が原城を築城。
1549	天文18	フランシスコ・ザビエルが鹿児島島に上陸。キリスト教を伝える。日本キリスト教の祖。
1550	天文19	ザビエルが平戸に来航。
1561	永祿4	平戸、宮前事件（松浦家の侍によるポルトガル船長襲撃）起きる。ポルトガルが平戸港を離れるきっかけの事件。
1562	5	大村純忠が横瀬浦を開港。貿易港が平戸から横瀬に移る。宣教師・フロイス横瀬浦の上陸。彼は生涯日本にとどまり、布教の傍ら、信長や秀吉らと謁見し、多くの「日本史」を書く。
1563	6	大村純忠がキリスト教に改宗。キリシタン大名となる。
		佐賀・武雄の領主、後藤貴明（純忠の従兄）が大村領の横瀬浦を襲撃、焼き払う、純忠が大村領から逃げ出す。のち奪還。横瀬浦の港が終わる。
1565	8	ポルトガル船、長崎の福田港に入港。横瀬から移る。
1569	12	長崎に初めてのサントス教会堂が建つ。今の夫婦川町、春徳寺にあった。
1571	元亀2	長崎が貿易港として開港。長崎は大村領であったので、大村純忠が6町を、いまの県庁通りの（森崎）半島に設ける。長崎甚左衛門（純忠の娘婿）が長崎を支配、1500石、人口1500人。（6町とは、それぞれの出身地名などの大村町、島原町、平戸町、横瀬浦町、外浦町、分知町からなる）
1574	天正2	このころ、長崎のお寺がキリシタンに焼かれる。
1580	8	大村純忠が長崎と茂木を耶蘇会に寄進。大村・長崎軍が長崎侵略を狙う西郷、深堀軍との15度の合戦に疲れて、長崎6町とキリスト教会防衛のために、ここを寄進をしたとされる。
1582	10	天正遣欧少年使節（4人の団員、千々石ミゲル＝千々石町、原ミゲル＝波佐見町、中浦ジュリアン西海町、伊東マンショ＝宮崎県）が長崎を出発。～90年までの8年間をかけて往復。派遣を提案し同行したのは宣教師・バリアーノだが、派遣したのは大友、有馬、大村の各大名だった。
1584	12	九州の有力大名の竜造寺孝信が有馬、島津連合軍に敗れる。
1587	15	秀吉のキリスト禁教令。秀吉も信長も布教容認だったが、布教がスペインの日本支配にあるという受け止めで、一転して禁止に踏み切る。
1588	16	豊臣秀吉が九州征伐。長崎を天領として、佐賀の鍋島に代官を命じる。長崎の領主・長崎甚左衛門が領地を失う。当時の長崎は16町。
		肥前の国の諸大名、秀吉から所領を安堵される。竜造寺家は島津制圧攻撃に非協力的であったため秀吉の怒りのかい、領地を没収され、竜造寺家の家老の鍋島が領地を引き継ぎ支配。
1590	18	遣欧少年使節団帰る。しかし、そのときすでに日本は禁教令下であり、一行は日本入国に1年ほど待たされたという。ようやく長崎に入港を許されて、のちに京都へ出向き、秀吉に謁見している。一行は活版印刷機を持ち帰る。
1591	19	キリシタン版印刷が加津佐で始まる。

1592	文禄元	初代長崎奉行に寺沢志摩の守がつく。当時長崎は23か町。役職名の長崎頭人を町年寄と変更。
		このころ、波佐見と三河内に製陶業が始まる。有田焼の祖＝李参平が始めたと言われる。秀吉の朝鮮侵略時に連行された朝鮮人である。
1596	慶長元	26人のキリシタンが京都などで逮捕され、見せしめのために長崎まで歩かされ、西坂の丘で処刑。殉教。1862(文久元)に列聖され、26聖人と呼ばれる。
1598	3	長崎に初めて仏教の寺ができる。稲佐の悟真寺で、のちに華僑の菩提寺となる。そこからこの寺は今もロシアなどの国際外国人墓地がある。
1600	5	関ヶ原の合戦。家康軍が勝利。
1603	8	家康のキリシタン禁止令。キリスト教徒の長崎甚左衛門純景(14代)が鶴の城を追われる。長崎氏の終わり。
1610		有馬晴信、マカオで有馬藩の船がポルトガルに襲撃されたことの報復として、長崎でポルトガル船を焼き討ちし、沈める。
1612	17	有馬晴信が岡本大八事件(幕府要人買収事件)に連座し、所領を没収され、死罪。のち、有馬氏一族は宮崎に移封。領主交代でのちの島原の乱の遠因へ。
1613	18	徳川家康、禁教令を出す。長崎のキリスト教会11寺院を打ち壊す。伴天連(宣教師)の国外追放。
1615	元名元	諏訪神社設立。このころ長崎くんちの始まり。長崎の人口、24,693人。
1616	2	松倉重政が島原へ入部。新領主。
1618	4	松倉重政が島原に森岳城を築く。現、島原城。苛政の始まり。
1620	6	長崎の唐寺・崇福寺建つ。
1622	8	長崎でキリシタン55人を処刑。元和の大殉教。
1629	寛永6	長崎で「絵ふみ」(踏み絵)が始まり、改宗しないものを処刑にする。
1633	10	長崎奉行2人制になる。
1634	11	出島建設へ。めがね橋完成。鎖国令。
		長崎くんち始まる。丸山の遊女が諏訪神社に踊りを奉納したのが始まりとされる。長崎奉行の神尾備前守、榊原飛騨守が「キリシタン制圧のため」に市民に推奨したとされる。(いかにも神にゆかりがある奉行名が面白い)
1637	14	島原の乱。4月間の戦いののちに、島原16村、天草の農民の大半の4万人が殺される。天草四郎の首は出島の橋のそばに数か月間、見せしめ的にさらされたという。原城のそばにさらされたという説もある。
1639	16	じゃがたらお春などの混血児を国外追放。キリシタン大名の高山右近も追放される。右近は6万石の所領を捨てて信仰を守り、最終的には国外追放、マニラで死去した、数少ない大名である。
1641	18	鎖国令。2次と3次の鎖国令の発令。
1642	19	長崎の丸山に遊郭を置く。
1644	正保1	外国船2隻が強行入港。幕府が諸藩の兵4万人を長崎に集める。
1647	4	医師・向井元升が長崎に孔子廟を建てる。芭蕉の弟子の俳人の向井去来の父である。
1648	慶安元	諏訪神社が現在の場所に移る。
1649	2	幕府、四国の小豆島の住民を島原半島へ移住させる。
1658	万治元	大村でキリシタン弾圧、「郡崩れ」おきる。600人が逮捕され、56人が島原で処刑。
1663	寛文3	長崎の大火、町の大半が燃消。奉行が町制、街並み整備の命令。直線道路と現在の町並みができる。
1690	元禄2	医師・ケンペル、長崎に来航し、西洋医学を伝える。
1672	寛文12	長崎市77町。いまの中心地がほぼ出来上がる。戸数9,393。人口40,250人。
1689	元禄2	十善寺郷(いまの館内町)に唐人屋敷を作る。外国人の隔離。
1700	12	深堀騒動(高木邸討ち入り)起きる。今の長崎市長職の町年寄の高木家の家来と深堀藩が衝突した事件。町で両者が喧嘩の後、高木家の家来が五島町の深堀の屋敷を襲い、刀を奪う。その仇討ちとして、深堀藩の家来が高木家を襲って、町年寄り(市長)を殺した事件。赤穂浪士討ち入りの下書きとされる。深堀家には「深堀騒動」として、今も切腹した11名の墓が残る。また、五島の久賀島には、赤穂48士の唯一の生き残り、寺坂彦右衛門伝説が残る。
1702	14	赤穂浪士討ち入り事件。
1790	寛政2	第1回浦上崩れ、キリシタン19名逮捕。
1797	寛政9	大村藩(西彼杵半島一帯)のキリシタンが五島移住を開始。

1808	文化5	フェートン号事件起きる。イギリス船が鎖国令を無視し、強行入港する。水と食料を要求し、長崎奉行もこれに応じる。長崎奉行、松平凶書の守がこの事件の引責、自刃。日見峠の国境（矢上の網場）に切腹した場所で、腹切り坂の記念碑がたつ。
1812	文化9	伊能忠敬が長崎県下を実測し、地図を作製。
1823	文政6	オランダ医者・シーボルトが出島にくる。
1841	12	町年寄、高島秋帆が幕府へ大砲を送る。武蔵野国で大砲の発射実験。
1855	安政2	長崎に海軍伝習所を開設。勝海舟が所長、坂本竜馬も入る。
1857	4	飽の浦に長崎造船所（三菱の前身）を作る。
1858	5	長崎に英語伝習所を開設。
		長崎医学伝習所開設。
1859	6	鎖国令解く、長崎、函館、横須賀開港。英人グラバー来る。
1861	文久1	長崎熔鉄所（三菱造船所）できる。
1863	3	上野彦馬、長崎に日本初の写真館を開く。
	3	フランス人宣教師・プチジャン日本へ入る。（明治のザビエルと呼ばれる）
1865	慶応元	大浦天主堂完成（26聖人記念聖堂）。フランス人宣教師のプチジャンが建てて、フランス寺と呼ばれた。天主堂は西坂の丘を正面に向けて建っている。信徒発見。280年の禁教令下で隠れキリシタンとして信教を守った浦上の信者（クララてる）などが現れ、日本の奇跡と呼ばれた。
	1	グラバーが大浦海岸で機関車を運転する。
1867	3	浦上4番崩れ。長崎奉行が信者の中心人物の70名を逮捕。
1868	明治元	明治維新、長崎奉行廃止。長崎府開設。
		ドロ神父が長崎に来る。
		明治政府が、キリスト教信者の浦上村の全員（3000人）を西日本各地に流罪とする。信者はこれを「旅」と呼ぶ。
1869	2	日本最初の鉄橋を島川に架ける。（現、人道の中央橋と呼ばれる鉄橋）
1870	3	本木昌造が活版所を始める。
1871	4	長崎県発足。福江、島原、大村、平戸の各県が廃止され、統一された。
	4	長崎一上海間に海底電信線が施設される。
1872	5	明治天皇が長崎を行幸。島原町を万才町に改称。
1873	6	キリスト禁教令を解除。浦上の追放されていたキリシタンが流刑地から長崎に戻る。
	6	本木昌造が長崎新聞を創刊。
1877	10	長崎に第18国立銀行が創設。現18銀行。
1878	11	高島炭鉱、三菱の所有へ。
		長崎県議会が初めて選挙をする。
1879	12	米国人が長崎に活水大学を開く。
1883	16	長崎県と佐賀県が分かれる。
1886	19	佐世保に軍港が置かれる。
1887	20	長崎製鉄所が三菱に払い下げられる。
1889	22	長崎に市制施行。
1891	24	長崎市に上水道が完成。
1893	26	長崎に電燈がつく。
1897	30	大村に歩兵46連隊を置く。
1899	32	長崎を要塞地点に指定。
1905	38	九州鉄道長崎線開通。
1912	大正元	長崎の戸数、22,816。人口154,351人となる。
1913	2	島原鉄道全線開通。
1923	12	長崎一上海間に定期航路開設。
1925	14	浦上天主堂完成。
1926	15	日見トンネル開通。
1930	昭和5	コルベ神父長崎に。聖母の騎士修道院を建てる。（昭和のザビエルと呼ばれる）
1933	8	長崎でラジオ放送始まる。
1945	20	長崎に原爆投下。7万人余が爆死。
1951	26	永井隆博士逝去。
1955	30	平和記念像完成（北村西望）、当時、この建立に被爆者の批判の声もあった。
1957	32	諫早大水害。539名の死者。

1958	33	浦上天主堂、被爆遺構保存決議を破棄し、取り壊し、翌年、再建される。
1968	43	佐世保に原子力空母（エンタープライズ）が入港。
1970	44	長崎開港400年式典開かれる。
1981	56	ローマ法王が長崎訪問し、コルベ神父の聖母の騎士修道院を訪問。
1982	57	長崎大水害、299人死亡。
2008 平成20		日本初のキリスト教の列福式が長崎で開かれる。江戸期からの殉教者188人が聖人に次ぐ聖者として顕彰された。